

三重県環境影響評価委員会小委員会

－（仮称）松阪飯南ウインドファーム発電所に係る環境影響評価方法書－ 調査審議概要

平成28年12月12日（月）13時30分～

三重県吉田山会館 第206会議室

委員：多くの住民の方があまり面白く思っていない。この場所が本当にたくさん風力発電で電気を作ってくれるのかという、自然エネルギーを作ってくれるのかという、せつかくの再生可能エネルギーの施設に関わらず、風が吹かなかつたらどうしようもないですよ。住民の方々も、地球環境にとっていいものなのか、ここはつきりしないんじゃないかと思った。なぜ思ったかという、この分厚い資料で、気象に関する記述があまりにも少ないと思ったのです。具体的に、P47にたったの1ページ書いてあるだけです。P6もほんのわずかですよ。しかも、NEDOが調べたものを参考にされているというお話しでした。他人のものを信じるくらいでいいのかなという気がしたのです。もっとお持ちだと思うので、ここがどれくらいの場所なのか、平均値だけではなくて、平均値が起きたって駄目ではないですか。丁度いい風が吹いてくるに決まっているじゃないですか。そういう意味で、しかも電力が不足するときに風が強い方がいいですよ。他の人が困っている時には。なので、そのあたりをもっと詳細な気象条件の記述があったほうがいいのではないかという気がしましたので、もし可能であれば増やしてほしいと思います。

もう一個関連しますが、結局これは自然エネルギーなので、CO₂は増やさない方に行くはずなんですが、その記述はどこかにありましたが、数字を出してもわからないですよ。例えばこれ位の量があった時に、地元で言うと、松阪市から出るCO₂排出量全部に対して、何割削減に貢献しますとかね。割合を出していただくと分かるじゃないですか。単に何kg減るかでは分からないじゃないですか。その辺の記述をもっとやっていただくと良くなると思います。

委員：騒音を中心にいくつか発言したいと思いますが、まずは近隣する7戸の住宅について、1.1kmということですが、それだけ離れていれば十分という保証はありませんので、十分にご検討及び配慮をお願いしたいと思います。データからすると、特にウインドファームの場合には、これ位離れていても影響はあるというデータも出ておりますので、よろしく願いいたします。

それから、景観の所で、いわゆる眺めという景観の観点から地点を選ばれているようですが、住宅から見えないかどうか、これを是非ご検討いただきたいと思います。離れていても、場所によっては見える可能性もあるんですね。風車が見えると影響がより大きく感じられるというデータもたくさん出されておりますので、それもぜひご検討をお願いし

たいと思います。

それから、先程もお話しございましたけども、環境省から「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」が11月11日に生まれて、そして環境省のホームページでオープンになっておりますので、ぜひこれを見ていただいて、これに対応する評価などをお願いしたいと思います。特に残留騒音について、残留騒音+5dBという形での目安の値というので提案されておりますので、そういう観点からの評価、そして残留騒音を、 L_{A95} とここに書かれていましたけども、環境省の方では L_{A90} という値を使っておりますし、基準も目安という言葉が使われておりますが、環境基準ではなくて、ここで言われている目安の値に適合しているかどうか、そういう観点からもご検討いただきたいと思います。ただ、測定マニュアルはまだ今まさに進めている所でございまして、いつ出るかという事ははっきりしておりませんが、もし測定マニュアルが間に合うならそれをご覧いただいて、それに従った測定をしていただければと思います。

それから、書かれておりませんでしたけど、事後評価もぜひお願いしたいと思います。事後評価、特に稼働した後ですね。超低周波音はおそらく関係ないとは思いますが、住民の方も懸念されているかと思っておりますので、事後評価を行って、検討いただきますようお願いしたいと思います。

それからもう一つ、住民との説明会があったようですが、是非住民との合意形成が得られるように、それも努力して頂ければと思います。

委員：地形地質の方で一点だけご質問させていただきたいと思います。P63で、(平成28年12月)9日に現地調査参加させていただいたんですけども、その時に山頂付近が非常に平坦でした。ああいう所の地形、地形図で見ますと、他にも建設予定地にあると思うのです。なぜああいう風になったかというのを考えて欲しいと思います。要因の一つとして、こういうことが考えられるかなと思います。まだ浸食されていないからああいう風な平坦地が残ったと。ということは、風雨に非常に曝されているので、あの付近の土壌は非常にグチャグチャになっていると考えられます。ですから、深層風化がどこまで進んでいるかというのを調べて頂かなければ、非常に巨大な物体が建つのですから、そこら辺を十分配慮していただきたいことがあります。それと同時に、そのような深層風化が激しいと、やはり土砂災害等も起こってくると思いますので、その点も十分な配慮をお願いしたいと思います。

それからもう一点、地下水の話で、地下水と水系ですね。この近くにムカデランというのもこの水系の中に入っていると思うのですけれど、そういう風な水の供給とか、全く影響がないかどうか、どうお考えでしょうか。

委員：動物関係です。1点目はヤマネに関して、地図を見ますと、13地点ヤマネの調査地点を設けて、全て巣箱をそこへ設置するという事ですね。新しい巣箱を設置して入る可能

性も高いと思うのですが、私が昔見たヤマネは、まったく民家の台所の水道の所に巣を造っているというのを見たことがあるんですね。なので、新しい巣箱のみならず、人があまり来ないような人工的な山小屋ですとか、ちょっとした屋根を造ったところ、神社、祠、そういう所の調査も是非していただきたいと思います。

それからもう一つは、すでにクマタカがつがいを作っているということなので、それを避けるようにしなきゃいけないと思うのですが、クマタカが餌を取る際に、私が現地に行った時に、尾根沿いの木がはげた、木をはがした、下から草になっているような、ああいう所が餌を取る場になっているのではないかと。もし、尾根に全て風車を建てる際に建設道路を造ってしまうと、クマタカの餌を採る場所が無くなってしまう可能性があると思うので、そのあたりの調査も是非していただきたいと思います。こっちのスギとかヒノキの所には鳥は入って行けないし、自然林の方もかなり鬱蒼と茂っているので、おそらく尾根のあのあたりは採餌場としては非常に、クマタカにとって重要な土地なのかなというふうに思います。よろしくお願いします。

委員：先ほど土砂災害の話がありましたけど、継続的な対応は取っていただくという前提のもとに、そこまで極端ではなくても、土砂の流入、川にとっては流入ということになってしましますが、それを抑えて測るといふか、どういう状況なんだろうということ、堆積の主だとか、河床の状態を把握するとか、そういう項目が水環境のところにあってもよいのではないかなと考えます。先程は四季だけではなくて降雨の後で、そういうものもそういうつもりだと、それはすごくよく出来ることだと思うので、そういう時にどういう状況であるのかという事が分かるような指標が設定されると良いのかなと思います。水温を測られるんですから、当然 pH も測っていくというのが常識かなと思います。pH と水温というのは、水のルーツに関わる所なので、これはやはり変化がないということも一つの情報という観点で必要なのではないかなと思います。先ほどの河床の状態の把握という観点でいくと、水質の地点数も底生動物の地点よりも多いです、そちらの方の地点に設定するのが望ましいことなのかなという風に思います。

次に、CO₂ の排出という事でありましたけども、森林伐採が伴う場合はもちろん面積が関係しますけども、森林伐採による CO₂、炭素の固定ということを考慮した発想も望ましいのかなと思います。

それから住民意見のところ、環境影響評価とちょっと違うかも知れませんが、合意形成ということで、依頼したいとか賛成だとか、そういった意見というのはどうなのでしょう。

それと、この地域では林地残材があるという話だったのですけれど、先程のこちらの資料の方で三重県の各地域にどれ位残っているかという記載がありますということがホームページの記載もあったのですが、各地点で地域に残っているという事と、この地域でこういう問題があるという事は違うので、そういう説明がないと、どうしても必要なのだ、そ

れは意義があることなのか、という風なことの説明にはなりにくいのかなと思います。

委員：お聞きしたいことの1つは、管理棟の位置はどこですか。

2番目は、途中で盛り土等をすると思うのですが、デコボコがあるから、そういう事はないんですかということ。

それから3番目は、倒壊の問題が非常に問題になっておりますので、他の委員の意見、ご質問と一緒になんですけど、建てる場所のボーリングはやらないんですかということですね。現地調査に行くと、かなり花崗岩が下にあるんですね。その上に砂岩が。ですから先程言ったように、世界でも日本でも風車の倒壊が非常に問題になっておりますので、そういう所まできちんと土台を岩盤に打ち付けるんですかという質問ですね。

最後は、バードストライクについてどうお考えですか。

委員：隣同士じゃないかもしれませんが、隣にもう1個（他社の計画が）あるのですよね。隣を造る時に、おたくがこれからお造りになるであろう林道を使ってもらうのですか。それとも隣のはまた別なの造ってなんかやっちゃうんですか。その辺は関係ないかもしれませんが、聞いておきたいなという気はするんですが。

事業者：（隣で事業を計画している）くにうみアセットマネジメント殿とはお話しさせていただいております。（道理は）2つありまして、1つ目はメンテナンス道路と言っているもので、それはそれぞれ（の事業者が）造らないといけないと思っております。風車が立つ位置も違う場所ですので。それ（それぞれのメンテナンス道路）を繋げることも話をさせていただいております。我々の端の風車から、くにうみアセットマネジメント殿の端の風車までは繋げた方がいいだろうなど。2つ目はアクセス道路をどうするか。くにうみアセットマネジメント殿は北側からアクセスをするということで考えておまして、我々は東側から。ここ（アクセス道路）も今後くにうみアセットマネジメント殿とどうしますかという話をしなければいけないと思っております。今、具体的にどちら（のアクセス道路）を使いますかということは、くにうみアセットマネジメント殿との間では検討していません。

幹事：騒音測定の時期について述べさせていただきます。私共は、騒音測定を実施するときは、風のない日に実施しております。先ほど測定の日には風の強い2月とお聞きしましたが、特に低周波音については5m/s以上の風があるときは音は拾えません。風がないと風車は回らないと思いますが、測定実施日については道路交通騒音調査時も含め、環境省の騒音測定マニュアル等をご参照のうえ、今一度ご検討いただきますようよろしくお願いいたします。